

資料 - 2

H18.12.25

天塩川水系河川整備計画について**(追加資料 その17)**

サクラマス産卵床調査

調査は専門機関が専門家の指導を受けながら実施。

調査は9月中旬と10月上旬の2回を基本として実施。

河川踏査により産卵床を目視(必要に応じて箱メガネを使用)確認し、確認した産卵床については全箇所的位置を記録し写真撮影。



産卵床に気をつけながら河川内を歩いて調査



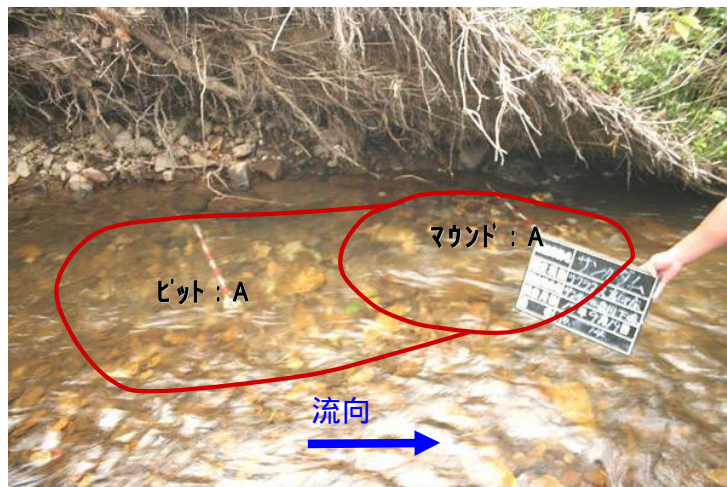
必要に応じ箱メガネを使用

サクラマス産卵床調査

1回目に確認した産卵床については、2回目に重複しないよう近くの樹木にリボンテープを設置。

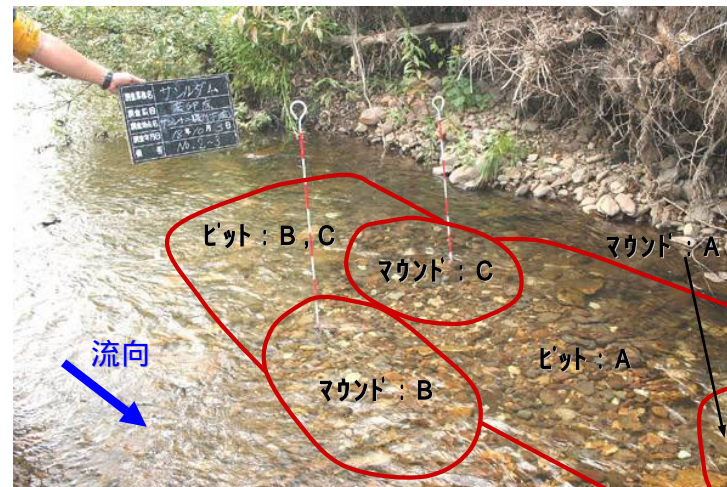
産卵床に似ている自然の凹凸に注意して調査。

サクラマスが掘りかけたにもかかわらず産卵していない箇所があるため、注意深く調査。



1回目調査

産卵床を1箇所確認



2回目調査

1回目に確認された産卵床箇所の上流側に新たな産卵床を確認

マウンド : 産卵あとに埋め戻された部分
ピット : 埋め戻しのために掘られた上流側のくぼみ

サンル川流域のサクラマス産卵床の分布

平成18年調査において常時満水位予定域に45箇所の産卵床を確認。

